

1. 事業予定計画書

平成30年度 事業 予定 計画

(1) 共済目的の種類別・引受実績及び計画

項目	組合員数	農作物共済		家畜共済												果樹共済				
		水稲	麦	乳用成牛	乳用子牛等	肥育成牛	肥育子牛	その肉用他成牛	その肉用他子牛等	一般馬	種豚	肉豚	種豚	種豚	種豚	計	特定危険(りんご)			
区分	戸	a	a	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	a
区域内の概数	9,350	2,478,060	425,100	49,890	49,832 (40,620)	31,470	8,622	33,087	36,067 (27,079)	21,459	21,441	149,636	30	250	401,784 (67,699)	25,360				
前年度引受実績	7,562	2,448,538	424,798	45,118	44,456	15,330	6,688	26,164	28,714	15,777	1,848	22,808	24	119	207,046	10,748				
本年度引受計画	7,500	2,424,799	424,600	44,739	43,305 (39,668)	15,197	6,657	26,037	28,531 (26,947)	15,002	1,747	24,231	22	109	205,577 (66,615)	10,800				
本年度引受予定率	80.2%	97.9%	99.9%	90.4%	89.2%	48.3%	77.2%	78.7%	79.1%	69.9%	8.1%	16.2%	73.3%	43.6%	51.2%	42.6%				

1. 乳用子牛等・その他肉用子牛等の () は胎児の頭数を示し内数である。

項目	畑作物共済										園芸施設共済													
	ばれいしよ	大豆	小豆	いんげん	てん菜	スコイート	たまねぎ	かぼちゃ	そば	計	ガラス室		プラスチックハウス						計					
											I類	II類	I類	II類	III類	IV類(甲)	IV類(乙)	V類		VI類				
区分	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟
区域内の概数	614,600	796,100	294,500	7,500	435,600	124,600	29,400	139,600	141,100	2,583,000	0	6	0	42,010	12	237	16	77	733	43,091				
前年度引受実績	321,770	654,197	183,237	2,986	312,700	53,020	18,734	82,959	100,617	1,730,219	0	0	0	18,876	6	114	15	54	415	19,480				
本年度引受計画	319,790	656,290	183,100	3,200	314,900	55,140	19,010	85,260	100,850	1,737,540	0	0	0	18,890	7	115	15	54	451	19,532				
本年度引受予定率	52.0%	82.4%	62.2%	42.7%	72.3%	44.3%	64.7%	61.1%	71.5%	67.3%	-	16.7%	-	58.4%	83.3%	58.6%	100%	72.7%	61.5%	58.4%				

<新制度適用(平成31年1月以降に共済責任期間開始)>

項目	組合員数	農作物共済		家畜共済												果樹共済								
		水稲	麦	搾乳牛	育成乳牛	繁殖用雌牛	育成肥育牛	繁殖用馬	の繁殖用以外	種豚	肉豚	種豚	種豚	種豚	計	乳用牛	肉用牛	一般馬	種豚	種豚	種豚	計	(りんご)	
区分	戸	a	a	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	a
区域内の概数		0	950,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前年度引受実績		0	950,984	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本年度引受計画		0	949,400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本年度引受予定率			99.9%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

項目	畑作物共済										園芸施設共済													
	ばれいしよ	大豆	小豆	いんげん	てん菜	スコイート	たまねぎ	かぼちゃ	そば	計	ガラス室		プラスチックハウス						計					
											I類	II類	I類	II類	III類	IV類(甲)	IV類(乙)	V類		VI類				
区分	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
区域内の概数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	42,010	12	237	16	77	733	43,091				
前年度引受実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5,772	2	20	1	2	2	5,800				
本年度引受計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5,623	3	24	1	2	0	5,654				
本年度引受予定率											-	16.7%	-	58.4%	83.3%	58.6%	100%	72.7%	61.5%	58.4%				

(2) 農業共済事業の規模

ア 農作物・家畜・果樹・畑作物・園芸施設事業の規模

共済目的区分	項 目	引 受		共済金額	保険金額	共 済 掛 金			納 入 保険料	交 付 金	手 持 掛 金		
		本年度予定	前年度実績			総 額	国庫負担	農家負担			千円		
											甲	乙	
農作物	水	全相殺 30年産	a	a	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		1,500,528	1,515,685	12,512,669	12,312,466	354,108	177,054	177,054	125,202	0	51,852		
	稲	全相殺 30年産	893,197	901,777	6,012,415	5,940,344	119,128	59,564	59,564	47,531	0	12,033	
		筆品質 30年産	31,074	31,076	129,087	127,484	1,764	882	882	568	0	314	
	麦	全相殺 (春播) 30年産	91,800	96,903	369,441	311,863	69,753	37,806	31,947	2,250	706	30,403	
		全相殺 (二条) 30年産	2,700	2,713	8,739	6,998	1,167	629	538	319	0	219	
		災害収入 (春播) 30年産	330,100	325,182	1,724,325	1,455,605	323,716	175,470	148,246	15	23,679	171,910	
		災害収入 (二条) 30年産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		半相殺 (春播) 30年産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		半相殺 (二条) 30年産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	<b>農作物 計</b>		<b>2,849,399</b>	<b>2,873,336</b>	<b>20,756,676</b>	<b>20,154,760</b>	<b>869,636</b>	<b>451,405</b>	<b>418,231</b>	<b>175,885</b>	<b>24,385</b>	<b>266,731</b>	
	家畜	乳牛の雌等	乳用成牛	頭	頭								
44,739			45,118	11,626,144	9,300,915	1,130,966	565,483	565,483	75,719	0	160,272	329,492	
肉用牛等		乳用子牛等	(39,668)	(40,620)	3,251,138	2,600,910	316,248	158,124	158,124	21,173	0	44,816	92,135
		肥育用成牛	15,197	15,330	3,656,250	2,925,000	65,594	32,797	32,797	12,548	0	11,328	8,921
		肥育用子牛	6,657	6,688	1,201,240	960,992	105,930	52,965	52,965	5,388	0	14,585	32,992
		その他肉用成牛	26,037	26,164	7,122,930	5,698,344	238,546	119,273	119,273	13,854	0	33,264	72,155
		その他肉用子牛等	(26,947)	(27,079)	3,043,148	2,434,518	346,066	173,033	173,033	14,017	0	46,754	112,262
一般馬		15,002	15,777	18,042,450	14,433,960	481,821	177,419	304,402	130,058	0	76,830	97,514	
種 豚		種 豚	1,747	1,848	108,805	87,044	7,493	2,997	4,496	2,840	0	1,458	198
		一般肉豚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
包括肉豚		包括肉豚	24,231	22,808	259,545	207,636	37,635	15,054	22,581	15,054	0	7,527	0
		乳用種種雄牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肉用種種雄牛		肉用種種雄牛	22	24	12,440	9,952	644	322	322	157	0	119	46
		種 雄 馬	109	119	81,155	64,924	7,034	3,517	3,517	1,826	0	1,336	355
<b>家畜 計</b>		<b>(66,615)</b> <b>205,577</b>	<b>(67,699)</b> <b>207,046</b>	<b>48,405,245</b>	<b>38,724,196</b>	<b>2,737,977</b>	<b>1,300,984</b>	<b>1,436,993</b>	<b>292,634</b>	<b>0</b>	<b>398,289</b>	<b>746,070</b>	
果樹	りんご 特定危険	a	a										
	10,800	10,748	172,385	166,775	6,730	3,365	3,365	2,983	0	382			
<b>果樹 計</b>		<b>10,800</b>	<b>10,748</b>	<b>172,385</b>	<b>166,775</b>	<b>6,730</b>	<b>3,365</b>	<b>3,365</b>	<b>2,983</b>		<b>382</b>		
畑作物	ばれいしょ	a	a										
	319,790	321,770	3,241,898	2,593,519	178,381	98,109	80,272	44,595	0	35,677			
	第1区分大豆	22,490	24,206	85,246	68,196	4,238	2,331	1,907	1,059	0	848		
	第2区分大豆	633,800	629,991	3,654,869	2,923,895	287,867	158,327	129,540	71,967	0	57,573		
	小 豆	183,100	183,237	749,367	599,494	33,909	18,650	15,259	8,477	0	6,782		
	いんげん	3,200	2,986	16,223	12,979	1,403	772	631	351	0	280		
	てん 菜	314,900	312,700	2,568,578	2,054,862	170,708	93,889	76,819	42,677	0	34,142		
	スイートコーン	55,140	53,020	231,962	185,570	13,728	7,550	6,178	3,432	0	2,746		
	たまねぎ	19,010	18,734	320,744	256,595	19,104	10,507	8,597	4,776	0	3,821		
	かぼちゃ	85,260	82,959	613,300	490,640	56,779	31,229	25,550	14,195	0	11,355		
そ ば	100,850	100,617	256,837	205,470	22,037	12,120	9,917	5,509	0	4,408			
<b>畑作物 計</b>		<b>1,737,540</b>	<b>1,730,219</b>	<b>11,739,024</b>	<b>9,391,220</b>	<b>788,154</b>	<b>433,484</b>	<b>354,670</b>	<b>197,038</b>		<b>157,632</b>		

共済目的区分	項目	引 受		共済金額	保険金額	共 済 掛 金			納 入 保険料	交付金	手 持 掛 金	
		本年度予定	前年度実績			総 額	国庫負担	農家負担				
園 芸 施 設	ガラス室											
	I 類			0	0	0	0	0	0	0	0	
	II 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	プラスチックハウス	I 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		II 類	18,890	18,876	9,533,673	7,626,939	136,880	68,031	68,837	41,294	0	27,543
		III 類	7	6	1,968	1,574	34	17	17	10	0	7
		IV類(甲)	115	114	205,710	164,568	1,719	855	864	518	0	346
		IV類(乙)	15	15	43,760	35,008	144	72	72	43	0	29
V 類		54	54	195,635	156,508	250	113	137	82	0	55	
VI 類	451	415	299,531	239,625	3,325	1,647	1,678	1,006	0	672		
園芸施設 計		19,532	19,480	10,280,277	8,224,222	142,352	70,735	71,605	42,953		28,652	
合 計				91,353,607	76,661,173	4,544,849	2,259,973	2,284,864	711,493	24,385	1,597,756	

〈新制度適用（平成31年1月以降に共済責任期間開始）〉

ア 農作物・家畜・園芸施設事業の規模

共済目的区分	項目	引 受		共済金額	保険金額	共 済 掛 金			納 入 保険料	交付金	手 持 掛 金	
		本年度予定	前年度実績			総 額	国庫負担	農家負担			甲	乙
農 作 物	全31年産相(秋播)	200,090	202,054	1,060,660	910,470	142,733	76,933	65,800	18,478	0	0	47,322
	31年産災害(秋播)	749,310	748,930	4,130,557	3,486,190	520,161	279,847	240,314	30,317	0	0	209,997
	31年産相(秋播)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	インデックス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	農作物 計	949,400	950,984	5,191,217	4,396,660	662,894	356,780	306,114	48,795	0	0	257,319
家 畜	搾乳牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	育成乳牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	繁殖用雌牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	繁殖用馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	繁殖用以外の馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	種 豚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	肉 豚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳用種及び肉用種雄牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	種 雄 馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳用牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	肉用牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	種 豚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳用種及び肉用種雄牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
種 雄 馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
家畜 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
園 芸 施 設	ガラス室											
	I 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	II 類	1	1	2,084	1,667	2	1	1	1	0	0	0
	プラスチックハウス	I 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		II 類	5,623	5,772	2,593,796	2,075,037	39,326	19,465	19,872	11,921	0	7,951
		III 類	3	2	406	325	7	3	4	2	0	2
		IV類(甲)	24	20	38,687	30,950	322	161	161	97	0	64
		IV類(乙)	1	1	1,729	1,383	6	3	3	2	0	1
V 類		2	2	3,549	2,839	4	2	2	1	0	1	
VI 類	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0		
園芸施設 計	5,654	5,800	2,640,251	2,112,201	39,667	19,635	20,043	12,024		8,019		

### (3) 農作物共済の引受推進方策および共済掛金徴収計画

#### ア. 完全引受の方策等

1) 水稻・麦につきましては、関係機関と連携を図り耕地の異動等の把握及び麦は経営所得安定対策の交付申請者の確認を行い適正引受に努めて参ります。

平成 31 年産秋播小麦から任意加入に移行することから、農業者リストによる有資格者の把握と継続加入を推進して参ります。

特に、秋播小麦については、収入保険制度への加入希望者であっても、無保険期間を生じさせないため、継続加入を推進します。

2) 引受方式並びに補償割合の選択について

① 水稻は、品質方式、全相殺方式、半相殺方式及び一筆方式のいずれかを選択して頂きます。なお、半相殺方式を選択された方は 8 割、6 割のいずれか、一筆方式を選択された方は、7 割、5 割のいずれかを選択して頂くこととなりますが、最高補償割合の選択を推進して参ります。

選択申出期日 5 月 20 日

② 麦は、全相殺方式、災害収入方式、半相殺方式のいずれかを選択して頂きます。災害収入方式は、品位低下も補償の対象となりますので、最高補償割合の選択を推進して参ります。

平成 31 年産秋播小麦からは、新たに地域インデックス方式が追加され更に一筆半損特例、及び補償割合についても、選択可能となることから制度内容の十分な説明を行い推進して参ります。

選択申出期日 春播小麦 4 月 25 日、二条大麦 4 月 30 日、秋播小麦 9 月 20 日

3) 掛金率

水稻は平成 30 年産から、麦については平成 31 年産から、新組合に告示された率に基づき組合員ごとによる危険段階別の掛金率を設定し、負担の公平化に努めます。

#### イ. 共済掛金等の納入推進方策

共済目的ごとの掛金等につきましては、納入期限に合わせ、金融機関の口座振替による納入を頂いております。平成 31 年産から水稻共済は任意加入により、掛金等納入期限が 7 月末日となります。本年産水稻掛金等納入期日についても、農水省の指導により従前期日より早めた 7 月末日となります。特に任意共済につきましては、規定された期日までの納入が遅れますと共済関係を解除されますことから、納入期日を納入期限前に設定し、金融機関の振替納入手続きを取らせて頂きますので、ご理解ご協力をお願い致します。

#### (共済掛金等徴収計画)

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	納入期限
水稻	%			100									7月31日
麦	春播麦	%		100									7月31日
	二条大麦	%		100									7月31日
	秋播麦	%									100		2月20日

#### (4) 家畜共済の引受推進方策

家畜共済制度運用の公平性を高め、より多くの畜産農家の方々に利用して頂くために、共済制度の普及、啓蒙を図り新規加入推進に努めて参ります。また、子牛共済の更なる普及啓蒙を推進して参ります。

平成31年1月より大幅な制度改正、収入保険制度が始まるため、継続手続き時には十分な制度説明を行い進めて参ります。

##### 1) 引受規模

引受計画に基づき推進して参ります。

##### 2) 掛金率

平成30年度 危険段階別掛金率設定は平成26年～28年までの3ヵ年の被害率に基づき、種雄牛・種雄馬以外のすべての包括共済目的で以下のとおり設定し、給付と負担の公平を図ります。

共済目的	死 廃		病 傷	
	危険段階の数	危険指数	危険段階の数	危険指数
乳牛の雌等	9	9.350	5	3.000
肥育用成牛	3	1.500	3	1.500
肥育用子牛	3	1.500	3	1.500
他肉成牛	3	1.500	3	1.500
他肉子牛等	3	1.500	3	1.500
一般馬	3	1.100	3	1.100
種 豚	7	2.000	3	2.000
特定包括肉豚	7	7.943		

##### 3) 個体評価について

家畜共済事務取扱要領に基づき、平成28年10月から平成29年9月の市場成績等を基に北海道NO S A I から示された全道統一基準の評価額を使用します。

#### (5) 果樹共済の引受推進方策

##### 1) 引受推進

果樹(りんご)栽培状況について、関係機関等の協力を基に有資格農家を把握し、継続引受の確保に最重点をおくとともに、未加入者への積極的な推進による引受拡大に努めて参ります。

また、農家ニーズに対応した半相殺減収総合方式(短期)と樹体共済制度の普及に努めて参ります。

##### 2) 掛金率

平成30年産は、すべての地区に危険段階基準共済掛金率を設定し、負担の公平化に努めます。

#### (6) 畑作物共済の引受推進方策

##### 1) 引受推進

一括加入対象作物(ばれいしょ・大豆・小豆・いんげん・てん菜)並びに一括加入対象外作物

(スイートコーン・たまねぎ・かぼちゃ・そば)についても制度の普及啓蒙を図り、基幹組合員、関係機関の協力を得ながら引受拡大に努めて参ります。

## 2) 単位当たり共済金額

畑作物共済の単位当たり共済金額は、告示された最高額の他に第3位及び最低額の中から種類ごとに組合員のニーズに応じた補償額を選択ができます。さらに、経営所得安定対策対象作物のばれいしょ1類・大豆1類・てん菜・そばに係る単位当たり共済金額については、補償範囲が広がることから、不慮の災害に備え選択可能な最高額を選択を推進して参ります。

## 3) 掛金率

平成30年産から、大豆はすべての地区に組合員ごとに危険段階基準共済掛金率を設定し、負担の公平化に努めます。他の共済目的種類等は、旧組合ごとに告示された掛金率（危険段階を含む）となります。

## (7) 園芸施設共済の引受推進方策

### 1) 引受推進

有資格者及び棟数を的確に把握し、継続引受の確保を図ります。また、平成31年1月1日から適用となる改正制度の普及を図るとともに、未加入者への積極的な加入推進による引受拡大に努めます。

補償機能の拡充を期すため、特定園芸施設と施設内農作物とのセット引受に加え、復旧費用及び撤去費用の引受も積極的に推進します。

### 2) 掛金率

平成30年度は、新組合に告示された率に基づき組合員ごとに危険段階基準共済掛金率を設定し、負担の公平化に努めます。

## (8) 収入保険の引受推進方策

平成31年1月1日より開始する収入保険については、地域関係機関との協力体制を確立し、農業者の加入意向に沿った円滑な引受推進に取り組んで参ります。

## (9) 損害防止事業および診療所の付帯事業の実施計画

### ア. 農作物・畑作物・果樹及び園芸施設共済

実施種目	支所	実施期間	対象面積(ha)	重点事項	経費の概算 (千円)
損害防止用農業機械貸付事業	石狩支所	随時	242.5	病虫害防除対策等 園芸施設除雪対策	6,146
	後志支所		71.5		2,804
	道南支所		954.9		17,467
	いぶり支所		—		—
	日高支所		2.6		1,208
合計			1271.5		27,625

## イ. 家畜共済

実施種目	支所	実施期間	対象頭数 (頭)	重点事項	経費の概算 (千円)
特定損害防止事業	石狩支所	4月～1月	4,650	繁殖障害・乳房炎・ 周産期疾病等	14,114
	後志支所		2,350		7,363
	道南支所		8,390		23,810
	いぶり支所		2,940		8,650
	日高支所		2,912		8,300
合計			21,242		62,237

実施種目	支所	実施期間	対象頭数 (頭)	重点事項	経費の概算 (千円)
一般損害防止事業	石狩支所	4月～3月	随時	①繁殖障害・乳房炎・ 周産期疾病・幼畜多発 疾患予防 ②伝染病まん延防止 ③集団検診・衛生管理 指導	15,365
	後志支所				10,874
	道南支所				39,705
	いぶり支所				18,725
	日高支所				20,561
合計					105,230

## ウ. 診療所の付帯事業

実施種目	支所	実施期間	対象頭数 (頭)	重点事項	経費の概算 (千円)
人工授精事業	石狩支所	4月～3月	8,610	繁殖成績の向上	88,784
	後志支所		10,930		94,713
	道南支所		41,480		263,588
	いぶり支所		9,700		116,106
	日高支所		22,450		225,660
合計			93,170		788,851

実施種目	支所	実施期間	対象頭数 (頭)	重点事項	経費の概算 (千円)
その他の事業	石狩支所	4月～3月	随時	牧野衛生・自衛防疫 関係等	3,763
	後志支所				3,311
	道南支所				3,683
	いぶり支所				8,939
	日高支所				11,531
合計					31,227

## (10) 損害の評価

### ア. 損害評価の適正化方策

被害概況調査を適宜実施し、損害評価要綱に基づき適正・公平な損害評価に努めて参ります。

- ① 水稻につきましては、悉皆調査を本実測で実施し適正評価に万全を期して参ります。  
施設計量全数調査を除く全相殺方式は、圃場調査と売渡数量との対比を行います。
- ② 麦につきましては、施設搬入数量並びに売渡数量等での評価となります。  
半相殺方式は本実測により調査致します。
- ③ 麦、畑作物（ばれいしょ1類・大豆1類・てん菜・そば）の共済金算定方法の見直しについて、

営農継続支払の交付を受ける対象農業者の麦・ばれいしょ1類・大豆1類・てん菜・そばについては、営農継続支払に相当する額が数量払に相当する額よりも多い場合は、営農継続支払と数量払の差に相当する額を控除するよう減収量を調整して共済金を算定します。

- ④ 畑作物につきましては、圃場調査と見回調査を含めた出荷数量調査を実施して参ります。
- ⑤ 果樹につきましては、損害評価員等及び職員を対象に、制度研修会を実施、既実施地区における損害評価現地研修会を実施し、適正評価に努めます。

## イ. 損害評価会の運営方策

損害評価会運営規則、損害評価要綱に基づき適正公正な損害評価に努めて参ります。

## ウ. 地区損害評価員の運用方策

地区内の損害評価がより一層適正な評価となるよう、作柄状況等の把握に努めて参ります。  
また、畑作物共済の圃場調査についても従来どおり実施し、適正評価に努めて参ります。

## エ. 損害評価員の運用方策

調査地区内の被害状況等を的確に把握し、本実測による悉皆調査に当り公平・適正な調査に努めて参ります。

## (11) 総代会の開催

通常総代会	定款第18条（理事の総代会の招集）に基づき開催致します。 （毎事業年度1回、5月）
臨時総代会	必要に応じ開催して参ります。

## (12) 理事会・監事会の開催

### ア. 理事会の運営方策

総代会議決事項を遵守し、事業計画に基づく適正運営と事業推進を行うため、理事会運営規則に基づき適切な運営を致します。また、事業及び業務を円滑に推進し、組合の運営についてより積極的に効率化を図って参ります。

### イ. 理事会・監事会の開催計画

理事会	理事会運営規則に基づき開催致します。
監事会	監事監査規則に基づき開催致します。

### ウ. 関係団体との協力関係

地域農政と連携した農業振興に参画し、地域の関係機関、団体と協議して農業共済事業の円滑な推進を図って参ります。

## (13) 監査の実施計画と重点事項

定時監査	監事監査規則に基づき総代会議決事項の遵守、法令定款に基づく適正執行、財務管理状況を重点に中間監査と決算監査を実施して参ります。
臨時監査	必要に応じ随時実施して参ります。

## (14) 執行体制の整備

### ア. 事務執行体制の整備

事業計画の適正実施と効率的な事務処理を図るため、法令、定款・事業規程並びに諸規則を遵守し、事業の多様化に備えた責任体制の確立と制度の専門的知識の向上を図るため、積極的に各種研修・講習会に参加し職員の資質向上と共に活力ある職員体制を採って参ります。

### イ. コンプライアンス態勢等の確立

コンプライアンス規則に基づく法令並びに社会的倫理規範の遵守のため、役職員のコンプライアンスの意識の高揚を図り、不祥事件の未然防止並びに不祥事件が発生した際の対応と係る事案の再発防止に努め、役職員に対するコンプライアンスに関する研修会を開催するとともに、内部検証を実施して参ります。

また、公益通報の処理に関する規則に基づき、法令等違反行為等に関する相談または通報の適正な処理に努めます。

### ウ. リスク管理態勢の確立

リスク管理基本方針に基づき、事業運営に係る管理対象リスクを総合的に管理し、適切なリスク管理態勢の構築と実践を図ることとし、監事監査及び内部監査により各種リスク管理態勢の遵守状況について内部検証を実施して参ります。

### エ. NOSAI 部長の設置及び職務

各地域の組合員と組合の実践機関として、共済事業の推進、損害通知の受理、その他日常組合業務の連絡協調を図り事業運営を円滑に進めて参ります。

### オ. 家畜診療所の運営方策

組合員に信頼される診療所として、家畜の診療のみならず事故の未然防止を図るため関係機関との連携を密にし、診療体制の強化及び損害防止事業の実施により、農家の生産性向上にも寄与できる総合的な地域獣医療の提供をめざして参ります。

### カ. 職制および職員の配置計画

職制規則に基づき、事務分掌及び事務処理体制と内部牽制組織を確立し、かつ相互協力体制をとりながら事業の円滑処理に万全を期して行きます。

## (15) 普及宣伝の実施

NOSAI 制度及び収入保険の普及啓蒙並びに組合員との信頼されるNOSAI を確かなものにするため「農業共済新聞」の購読推進と「組合広報誌」を年4回発行、更にホームページの活用と充実を図り、組合の事業内容等を知らせるとともに身近な話題を提供して参ります。

## (16) 予算統制の方策

国庫事務費負担金の予算縮減による農水省経営局長通知「農業共済団体における効率的かつ適正な運営の推進について」に基づき、各部・支所及び診療所毎に事業計画の重点事項を中心に予算措置を行い、予算執行にあたっては、それぞれの責任と合議制のもとに予算統制を行い、予算の効率的な執行に努めます。

## (17) 固定資産の更新・取得計画

平成30年度に下記のとおり計画します。

固定資産名	金額	備考
診療所職員住宅新築工事	19,200千円以内	道南支所1棟
いぶり支所西部事業所取得	40,000千円以内	いぶり支所
車庫取得	3,000千円以内	道南、日高支所
医療器具機械45台	43,700千円以内	石狩支所 9台・後志支所 4台 道南支所 20台・いぶり支所 10台 日高支所 2台

## (18) 各種講習・研修会

種別	対象者	実施月日	摘要
総務関係 コンプライアンス研修会 農業共済制度説明会 安全運転講習会	役職員等 基幹組合員・関係機関 職員	随時	
農作関係 転作(冬損)現地研修会 作柄概況調査 果樹共済現地研修会	損害評価員等 損害評価員等 損害評価員・職員等	随時	
家畜関係 獣医師教育プログラムによる研修 診療技術講習会 酪農講習会・研修会	診療所技術職員 診療所技術職員 家畜関係組合員	随時	

## (19) 一県一組合化の取組み

本年度より、連合会役員による特定組合化検討協議会を立ち上げ協議して参ります。  
また、職員による運営検討会及び研究会において具体的協議を行って参ります。

事業計画書付属資料

農作物・果樹・畑作物・園芸施設共済の地区別引受計画

支所名	区分	水 稻		麦		果 樹		畑 作 物		園 芸 施 設	
		戸 数	面 積	戸 数	面 積	戸 数	面 積	戸 数	面 積	戸 数	棟 数
石 狩	30年	943	723,816	941	884,000			665	474,840	760	4,750
	前年	951	731,086	947	951,404			644	472,731	718	4,484
後 志	30年	737	497,678	382	167,900	68	10,000	420	490,000	683	6,871
	前年	744	502,643	388	181,161	68	9,968	425	481,266	610	7,220
道 南	30年	1,241	693,945	142	120,400	6	800	509	397,800	722	8,486
	前年	1,253	700,756	154	120,301	6	780	515	403,893	724	8,706
いぶり	30年	651	375,147	345	196,400			370	364,400	243	2,197
	前年	658	378,909	344	194,103			350	361,417	232	1,985
日 高	30年	310	134,213	9	5,300			10	10,500	194	2,882
	前年	312	135,145	8	4,878			11	10,912	202	2,885
合計	30年	3,882	2,424,799	1,819	1,374,000	74	10,800	1,974	1,737,540	2,602	25,186
	前年	3,918	2,448,538	1,841	1,451,847	74	10,748	1,945	1,730,219	2,486	25,280

家畜共済の地区別引受計画

(単位：頭)

支所名	区分	乳用成牛	乳用子牛 (含む胎児)	肥育牛等 (含子牛)	他肉成牛	他肉子牛 (含む胎児)	一般馬	種 豚	包括肉豚	種雄牛 ・馬	計
石 狩	有資格頭数 A	10,529	10,724	1,657	1,456	1,632	916	2,212	21,269	6	50,401
	引受計画 B	8,471	6,594	1,524	1,230	1,350	96	1,105	12,000	3	32,373
	前年度実績 C	8,477	7,010	1,570	1,271	1,425	103	1,110	10,615	4	31,585
後 志	有資格頭数 A	4,899	5,116	220	985	1,046	23	3,478	28,120	3	43,890
	引受計画 B	4,425	4,583	281	982	1,022	23	40	4,300	2	15,658
	前年度実績 C	4,512	4,676	287	1,038	1,091	27	40	4,315	3	15,989
道 南	有資格頭数 A	18,177	17,399	20,500	5,033	5,343	618	12,053	68,880	42	148,045
	引受計画 B	18,261	18,138	7,310	5,106	5,435	619	243	5,311	43	60,466
	前年度実績 C	18,415	18,364	7,344	5,062	5,403	679	310	5,144	49	60,770
いぶり	有資格頭数 A	7,689	8,003	9,732	16,307	18,135	3,893	3,236	22,222	55	89,272
	引受計画 B	5,729	5,996	5,038	8,958	9,888	471	339	2,300	6	38,725
	前年度実績 C	5,815	6,164	5,047	8,981	9,906	554	365	2,317	5	39,154
日 高	有資格頭数 A	8,596	8,590	7,983	9,306	9,911	16,009	462	9,145	174	70,176
	引受計画 B	7,853	7,994	7,701	9,761	10,836	13,793	20	320	77	58,355
	前年度実績 C	7,899	8,242	7,770	9,812	10,889	14,414	23	417	82	59,548
合 計	有資格頭数 A	49,890	49,832	40,092	33,087	36,067	21,459	21,441	149,636	280	401,784
	引受計画 B	44,739	43,305	21,854	26,037	28,531	15,002	1,747	24,231	131	205,577
	前年度実績 C	45,118	44,456	22,018	26,164	28,714	15,777	1,848	22,808	143	207,046
平均共済金額		260	75	222	274	107	1,203	62	11	714	